

ベストな比を見つけてつくろう！フルーツ白玉団子！！

単 元	比とその利用	対象学年	6 年
ね ら い	単元の導入として、白玉粉を使った調理を行う中で、白玉粉と水の量の比や比の値を見つけていくことができる。		

1 準備するもの

教師：白玉粉、水、きな粉(白玉がおいしく食べられるものであれば何でもよい)

児童：調理で使用する道具

2 学習のしかた

- (1) ㊶白玉粉 50 g と水 40 mL, ㊷白玉粉 60 g と水 60 mL, ㊸白玉粉 50 g と水 50 mL, ㊹白玉粉 60 g と水 70 mL の 4 つを用意する。
- (2) 8 グループを作り、1 班は㊶, 2 班は㊷, 3 班は㊸, …, と分担して、白玉団子を作っていく。その際、クラスの半分の人数以上作るように指示して、1 人 1 個は白玉団子が食べられるようにする。
- (3) できた㊶～㊹の白玉団子をそれぞれ試食し、感想をワークシートに書いて、意見交流をする。
- (4) ㊶であれば 50 : 40 のように比の表し方について知り、㊷～㊹も比で表していく。
- (5) グループで、交流学級の 1 年生にとっておいしい白玉団子を振る舞うために、㊶～㊹のどの白玉団子がよいのかを話し合って決定する。
- (6) 第 2 時で比の値について学習し、㊶～㊹の白玉団子の比の値を求めていく。

その際、㊷と㊸の白玉団子は比の値が同じになることに注目させる。

- (7) 第 3, 4 時で、等しい比について学習し、㊶～㊹の白玉団子の比を簡単に表す。㊷と㊸の白玉団

